

## 令和5年度第1学年国際理解コース第1回模擬授業

2023. 06. 23

南山大学外国語学部フランス学科吉澤秀樹教授より、「英語との関係性から考えるフランス語を学ぶ意味」というテーマで授業をしていただきました。

最初は、生徒が持っているフランスに対するイメージを挙げるところから始まりました。その後、外来語として日本に入ってきているフランス語をスペルから想像するというアクティビティなどをおして、日本人が持っているフランスに対するイメージで語の意味が限定されたりするということを教えていただきました。言葉が他言語に移されるときに、イメージが言語に影響を与えることを学びました。



次に、英語とフランス語が共有する語の語源を歴史の観点からお話しくださり、歴史の中で言語というものが変化してきたこと、また伝播したところの人々のとらえ方で語の意味が変化していくことをお話しされました。フランス語のもとになる言語や、民族のルーツに関する作品、ヨーロッパの歴史の中での言語の変遷など、複眼的にフランス語という言語を見るという時間になりました。

また、日本の中でのフランス語の位置づけや、国際社会でのフランス語の重要性などにも触れ、普段意識していなかったフランス語という言語を、生徒たちも身近なものとして感じることができました。またさらに英語との関係性から、将来的にフランス語に触れる際に、さらに身近になる可能性を感じるなど、貴重な時間になりました。「世界で最も美しい言語」とも言われるその理由を知り、言語や文化を学ぶことの奥深さを模擬授業で学び、大学の外国語学部で実際に学ぶことへの関心も湧いてきたように感じられました。夏季休暇中の南山大学への訪問では、今回得られた関心を繋げて、さらなる学びの機会を充実させることを期待しています。

